

「ビッグスワン」で、オープニングイベント サッカー少年団の子どもたち 大役を果たす

4月29日、2002サッカーワールドカップの会場となる新潟スタジアム「ビッグスワン」で、オープニングイベントとして「新潟2001年宇宙の旅」が開催され、当町のサッカー少年団の子どもたちや保護者など50名を含む、県下111市町村から約4万人が参加しました。

最初に落語家の林家こん平さんから、各市町村の紹介が甚句調で次々とされる中、当町から参加した子どもたちは、町のアピールのため、のほりを持って場内を堂々と行進し、見事大役を果たしました。

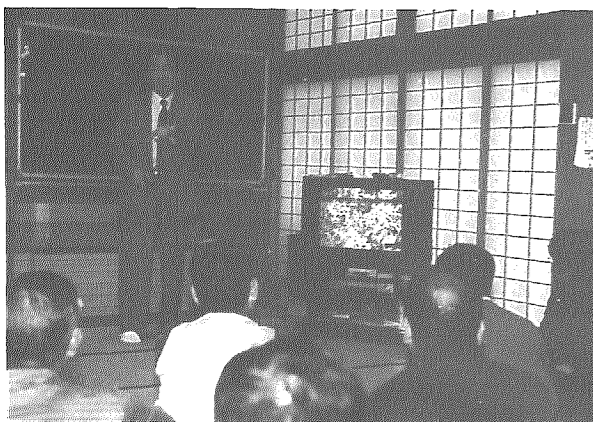
その後、さだまさしさんや渡辺謙さん、県民有志のみなさん450名が参加したミュージカル「緑百年物語」が演じられると、ミュージカルのすばらしさ、規模の大きさに、参加者たちは感嘆の声を上げていました。

竹のこ掘り、竹馬作り、竹のこ汁など 竹づくし 「竹のこフェア—フジコマ2001」開催

5月12日、藤山・駒込地区JA野菜集出荷場で、「竹のこフェア—フジコマ2001」が開催されました。

この催しは、特産品である竹のこや竹製品を多くの人たちに知ってもらおうと始められ、今年で9回目。天候に恵まれ、町内外から多くの人たちが訪れ、クワやスコップなどを使って竹のこを掘る家族連れや、地元の方から教わりながら竹馬や竹とんぼなどを作る真剣な表情の子どもたちの姿が見られました。

また、店頭には地元産の竹のこ、竹細工、旬の野菜、農産物加工品などがたくさん売っていたほか、あつあつの竹のこ汁や竹のこご飯、炭火で焼いた横越ポークが来場者に振る舞われ、長蛇の列ができていました。



地域ぐるみで農村の活性化を考える 大学教授を招いて 木津で懇談会開催

5月19日、今年3月に発足した木津地域活性化推進協議会の主催により、木津地域の活性化の方策を探ろうと、東洋大学教授青木辰司先生（環境社会学）を招いて懇談会が開催され、約30名が参加しました。

懇談会では、スライドやビデオを用いながら、クラインガルデン（小さな市民農園）について、ドイツやイギリスなどのヨーロッパ及び茨城県や長野県などの国内での事例を紹介しながら、農業のある暮らし、都市と農村との対等な関係の構築、農業を福祉や教育に取り入れた場合の効用などについて説明がありました。また、当町において市民農園を導入する地域活性化案などについても言及し、参加者は真剣に話に聞き入っていました。

町特産の長芋に触れて味わってもらおうと 晴天のもと 焼山で長芋の植え付け体験

町特産の長芋に触れて味わってもらおうと、AFカガヤキ農園では長芋の植え付けと収穫を体験できる長芋オーナーを募集し、5月20日、焼山の畑で植え付けが行われ、町内外の夫婦や親子連れなど100名ほどが参加しました。

はじめに農園の職員から植え方について説明があった後、農園であらかじめ掘っておいた溝に、参加者たちは長さ約20cmの種芋10本をていねいに並べて、土を被せていきました。参加者の多くは新潟市など近郊の方でしたが、中には5年連続で申し込んでいる方、村上市や六日町などの遠方からの参加者もいました。

同農園では今後、スイートコーンやさつまいも、長芋の収穫体験も予定しているそうです。



借り過ぎにご注意ください！

「多重債務」による自己破産が増えています。
ローンやクレジットカードは節度ある利用を。



多重債務——キャッシングやクレジットカードのローンなどの返済ができなくなり、さらに複数の金融業者からお金を借りて返済できなくなる。借りたり返したりを繰り返すうちに多額の債務を背負い、自分の収入では返済できなくなるケースが多いようです。

近年、こうした多重債務による自己破産が増えています。1996年に約5万6千件だった個人の自己破産は、99年には約12万3千件、2000年には13万9千件に急増しています。

キャッシングやクレジットカードのローンなどは節度を

もった利用を心がけ、安易な借り入れで生活が破綻しないよう計画的な借り入れをすることが大切です。借り入れの際には、

- ①本当に必要なのか
- ②無理のない返済ができるのか
- ③手数料や金利はいくらになるのか
- ④契約書の内容は理解できたかをよく考えましょう。

借金を返すために借金をするのが、多重債務や自己破産に陥る典型的なパターン。もし、返済が難しくなったり、無理ができてきたりしたときは、親や家族など身近な人、借入先の業者、公的な機関などに相談してください。

……主な相談機関……

- 国民生活センター（相談専用） ☎03-3446-0999
- 各地の消費生活センター
- 各都道府県貸金業協会（苦情・相談窓口）
- 各弁護士会の法律相談窓口
- 日本クレジットカウンセリング協会 ☎03-3226-0121
- 金銭管理カウンセリング事業団（東京）☎03-5282-7500（大阪）☎06-6242-2200
- 救済更生事業団 ☎06-6355-0947

悪質業者の手口を知ろう

品物やサービスの代金分割払いかと思っていたら、実は金融業者からの借金契約だった、というトラブルも発生しています。契約書をよく読み、説明をよく聞きましょう。

また、国や都道府県に無登録で貸金業を営業して、高い金利をとったり、暴力的な取り立てをしたりする業者もあります。返済に困っている多重債務者をターゲットにした悪質業者もあるので、ご注意ください。



①紹介屋……あたかも低金利で融資するよう思わせて多重債務者を呼び込み、「あなたの信用状態はよくない。うちでは貸せないのではほかの店を紹介する」などと言って、紹介料をだまし取る。

②整理屋……「あなたの債務を整理・解決します」などと広告し、多重債務者から「整理手付金」といった名目で現金などを預かり、整理を引き延ばした上、整理をしないで金をだまし取る。

③買取屋……融資の条件としてクレジットカードで商品を次々と買わせ、それらを定価以下で買い取り、さらに高金利で融資する商法。申込者には業者への借金のほかに、クレジット会社への債務も残る。

④名義貸し……「消費者金融会社の調査」の「お金を借りるだけのアルバイト」と称して消費者金融会社から金銭を借り受けさせ、アルバイト料を支払った上で「返済はこちらでやっておく」と発行されたカードとともに金をだまし取る。集めた金とカードで返済と借入を繰り返すために、返済が行われている間は発覚せず、長期間だまされていることに気づかない。